

□東京せたな会総会開催～故郷を懐かしむ～

10月23日、東京都豊島区の地球飯店で第16回東京せたな会総会が開催されました。

総会には朝日山親方ご夫婦他43名が参加し、役員改選や北檜山区・大成区出身の方の新入会員の紹介の後、懇親会では昔話で故郷を懐かしみ、ゲームでの交流が始まると会場は大いに盛り上がりました。最後はせたな町の発展、東京せたな会の永続を祈念し散会となりました。



□農業担い手育成セミナー～妻への感謝を言葉に～



11月22日、温泉ホテルきたひやまで大樹町でダイコン生産に取り組んでいる大石富一氏を招き「夫婦円満が成功の秘訣」と題して農業担い手育成セミナーが開催されました。

大石氏は「北海道に住む者が北海道産のものを消費し盛り上げることが大事」、「国を作る最小単位である家庭の円満がいい国

を作る。皆さんも妻への感謝を言葉にしてみても」と、家庭円満こそが経営意欲の向上につながることを話されました。



□檜山北高等学校バドミントン部！団体戦26年ぶりに北海道大会出場！



11月24日～26日、函館市民体育館で第40回全国高等学校選抜バドミントン大会北海道予選函館支部予選兼第63回高体連函館支部新人バドミントン大会が行われ、檜山北高等学校バドミントン部が、団体・個人戦で北海道大会出場を決めました。

団体戦では、対戦相手の函館中部・函館稜北・函大柏稜高校にいずれも3対0で勝ち、26年ぶりに大会出場を決めました。また、個人戦では亀尾拓実・山田和稀ペアが北海道大会に出場します。

北海道大会は1月12日～14日、函館市民体育館で行われます。全国大会目指して頑張ってください！

【インタビュー】

佐藤碧斗部長（写真左）

団体戦では、シングルス強化して、みんなで力を合わせて頑張ります。

亀尾拓実副部長（写真右）

得意なスマッシュを大会では決めていきたい。精神力を鍛えて追い込まれた試合にも勝っていきたい。



□地元のお米はおいしいです！～新米のプレゼント！～



11月28日、役場応接室でJAきたひやま・JA新はこだて若松基幹支店・両JA水稻部会の4団体から、今年生産された自慢の新米1,200Kg(20俵)が町に寄贈されました。

新米を町内のお年寄りや児童生徒に食べてもらい、地元米への理解を深めてもらいたいと毎年寄贈していただいています。

寄贈された新米は、学校給食センター、老人ホームきたひやま荘、老人ホーム大成生長生園、瀬棚老人ホーム三杉荘へ配布し大変喜んでいただいています。

おいしい贈りものをありがとうございます。

□最後の「平小まつり」開催！～大成宝石井やメッセージ付もちまき～

11月29日、平田内小学校で地域住民に支えられて学ぶ児童たちが、皆さんへの感謝の気持ちをこめて開催される「平小まつり」が行われました。

宮野・平浜地区の皆さんのほか、くおん大学からも多数の方が来校してくださり、児童が考えたゲームを楽しんだ後、すべて地元の食材で作った「大成宝石井」とエビの頭の味噌汁が振る舞われました。

「大成宝石井」は児童が名付けたもので、盛り付けされた鮭フレークは、大成マリビジョン計画で行われた「鮭フレーク作り」で児童が作ったものです。

プログラムのラストでは、児童からの感謝のメッセージが添えられた「もちまき」を行い、今年で最後となった「平小まつり」は、参加した全員に忘れられない思い出として心に残るものとなりました。



□母さんの食育サミット～檜山農村女性フォーラムが開催されました～



12月5日、ふれあいプラザで檜山農村女性フォーラム(主催・檜山農村女性グループネットワーク「花埋み」・檜山振興局)が開催されました。

今年のテーマは「檜山の味のモトのモト～母さんの食育サミット」で、約100名が参加し、試食会にはせたな町から3団体が、黒豆おいなり・豚汁・ヨーグルト・ゆり根のゼリーなど多彩な料理を提供しました。

今年はバイキング方式で行われ、会場の配置や試食用の取り皿も工夫され、参加者からは「こういう食べ方もあるんだね～」「勉強になったわ～」などといった声があり、試食後はべこもち・味噌・きんぴらなどの加工品が販売され、買い求める人で賑わいました。